

コース名	科目名		対象学年
臨床医学	症候論		4
開講学期	科目責任者	副責任者	全体資料
2 学期	和田 秀穂	荻野 隆光	有

授業到達目標

1. 貧血、リンパ節腫脹、発熱の原因、病態、診断の要点、治療を概説できる。
2. 浮腫、タンパク尿、血尿、尿量・排尿の異常の原因、病態、診断の要点、治療を概説できる。
3. 胸水、呼吸困難、咳・痰、血痰・喀血の原因、病態、診断の要点、治療を概説できる。
4. 胸痛、動悸、肥満・やせの原因、病態、診断の要点、治療を概説できる。
5. 腹部膨隆・腫瘤、吐血・下血、便秘・下痢、月経異常の原因、病態、診断の要点、治療を概説できる。
6. 食思（欲）不振、嚥下困難・障害、悪心・嘔吐、黄疸、腹痛の原因、病態、診断の要点、治療を概説できる。
7. ショック、発疹、めまい、外傷・熱傷、脱水の原因、病態、診断の要点、治療を概説できる。
8. もの忘れ、運動麻痺・筋力低下、けいれん、関節痛・関節腫脹、腰背部痛の原因、病態、診断の要点、治療を概説できる。
9. 頭痛、不安・抑うつ、意識障害、失神、全身倦怠感の原因、病態、診断の要点、治療を概説できる。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1	9/ 3	火	4	講義	和田	血内	オリエンテーション、症候論学習の仕方	F-1
2	9/ 3	火	5					
3	9/ 3	火	6	演習	松橋 寺西 平野 前島 末盛	血内 小児 リウマチ 麻酔 1 検査診断 (病態)	一巡目：貧血、リンパ節腫脹、発熱	F-1-1), F-1-26) F-1-27)
4	9/ 5	木	4	演習	春名・藤井	腎内 泌尿器	一巡目：浮腫、タンパク尿、血尿、尿量・ 排尿の異常	F-1-11), F-1-28) F-1-29)
5	9/ 5	木	5					
6	9/ 5	木	6	演習	清水・加藤茂	呼外 呼内	一巡目：胸水、呼吸困難、咳・痰、血痰・ 喀血	F-1-13), F-1-14) F-1-15), F-1-18)
7	9/ 6	金	4	演習	根石 田中克 渡部芳	循内 乳甲外 生理 1	一巡目：胸痛、動悸、肥満・やせ	F-1-4), F-1-16) F-1-17)
8	9/ 6	金	5					
9	9/ 6	金	6	演習	吉田和 村田 岡田敏 谷岡	総外 産婦 1 消外 臨床腫瘍	一巡目：腹部膨隆・腫瘤、吐血・下血、 便秘・下痢、月経異常	F-1-22), F-1-23) F-1-25), F-1-30)
10	9/10	火	4	演習	吉田浩 松本啓 山本亮 今村	胆膵イン 消内 放診 検査診断 (内・超)	一巡目：食思（欲）不振、嚥下困難・ 障害、悪心・嘔吐、黄疸、腹痛	F-1-3), F-1-19) F-1-20), F-1-21) F-1-24)
11	9/10	火	5					
12	9/10	火	6	演習	荻野 戸田 宇野雅 下田 林宏	救急 麻酔 2 耳鼻 糖内 皮膚	一巡目：ショック、発疹、めまい、 外傷・熱傷、脱水	F-1-5), F-1-9) F-1-10), F-1-12) F-1-37)

13	9/12	木	4	演習	三原・三宅 阿部泰 田中健	神内 骨・関節 リハ スポ・外傷	一巡目：もの忘れ、運動麻痺・筋力低下、 けいれん、関節痛・関節腫脹、腰背部痛	F-1-8), F-1-32) F-1-34), F-1-35) F-1-36)
14	9/12	木	5					
15	9/12	木	6	演習	山下 八木田 松原 村上伸	総合臨床 脳卒中 脳外1 精神	一巡目：頭痛、不安・抑うつ、意識障害、 失神、全身倦怠感	F-1-2), F-1-7) F-1-31), F-1-33)
16	9/13	金	4	演習	松橋 寺西 平野 前島 末盛	血内 小児 リウマチ 麻酔1 検査診断 (病態)	二巡目：貧血、リンパ節腫脹、発熱	F-1-1), F-1-26) F-1-27)
17	9/13	金	5					
18	9/13	金	6	演習	春名・藤井	腎内 泌尿器	二巡目：浮腫、タンパク尿、血尿、尿量・ 排尿の異常	F-1-11), F-1-28) F-1-29)
19	9/17	火	4	演習	清水・加藤茂	呼外 呼内	二巡目：胸水、呼吸困難、咳・痰、血痰・ 喀血	F-1-13), F-1-14) F-1-15), F-1-18)
20	9/17	火	5					
21	9/17	火	6	演習	根石・田中克 渡部芳	循内 乳甲外 生理1	二巡目：胸痛、動悸、肥満・やせ	F-1-4), F-1-16) F-1-17)
22	9/19	木	4	演習	吉田和 村田卓 岡田敏 谷岡	総外 産婦1 消外 臨床腫瘍	二巡目：腹部膨隆・腫瘤、吐血・下血、 便秘・下痢、月経異常	F-1-22), F-1-23) F-1-25), F-1-30)
23	9/19	木	5					
24	9/19	木	6	演習	吉田浩 松本啓 山本亮・今村	胆膵イン 消内 放診 検査診断 (内・超)	二巡目：食思(欲)不振、嚥下困難・ 障害、悪心・嘔吐、黄疸、腹痛	F-1-3), F-1-19) F-1-20), F-1-21) F-1-24)
25	9/20	金	4	演習	荻野 戸田 宇野雅 下田 林宏	救急 麻酔2 耳鼻 糖内 皮膚	二巡目：ショック、発疹、めまい、 外傷・熱傷、脱水	F-1-5), F-1-9) F-1-10), F-1-12) F-1-37)
26	9/20	金	5					
27	9/20	金	6	演習	三原・三宅 阿部泰 田中健	神内 骨・関節 リハ スポ・外傷	二巡目：もの忘れ、運動麻痺・筋力低下、 けいれん、関節痛・関節腫脹、腰背部痛	F-1-8), F-1-32) F-1-34), F-1-35) F-1-36)

28	9/24	火	4	演習	山下 八木田 松原 村上伸	総合臨床 脳卒中 脳外1 精神	二巡目：頭痛、不安・抑うつ、意識障害、 失神、全身倦怠感	F-1-2), F-1-7) F-1-31), F-1-33)
29	9/24	火	5					
30	9/24	火	6	演習	松橋 寺西 平野 前島 末盛	血内 小児 リウマチ 麻酔1 検査診断 (病態)	三巡目：貧血、リンパ節腫脹、発熱	F-1-1), F-1-26) F-1-27)
31	9/26	木	4	演習	春名・藤井	腎内 泌尿器	三巡目：浮腫、タンパク尿、血尿、尿量・ 排尿の異常	F-1-11), F-1-28) F-1-29)
32	9/26	木	5					
33	9/26	木	6	演習	清水・加藤茂	呼外 呼内	三巡目：胸水、呼吸困難、咳・痰、 血痰・喀血	F-1-13), F-1-14) F-1-15), F-1-18)
34	9/27	金	4	演習	荻野 戸田 宇野雅 下田 林宏	救急 麻酔2 耳鼻 糖内 皮膚	三巡目：ショック、発疹、めまい、 外傷・熱傷、脱水	F-1-5), F-1-9) F-1-10), F-1-12) F-1-37)
35	9/27	金	5					
36	9/27	金	6	演習	吉田和 村田卓 岡田敏 谷岡	総外 産婦1 消外 臨床腫瘍	三巡目：腹部膨隆・腫瘤、吐血・下血、 便秘・下痢、月経異常	F-1-22), F-1-23) F-1-25), F-1-30)
37	10/ 1	火	4	演習	吉田浩 松本啓 山本亮・今村	胆膵イン 消内 放診 検査診断 (内・超)	三巡目：食思（欲）不振、嚥下困難・ 障害、悪心・嘔吐、黄疸、腹痛	F-1-3), F-1-19) F-1-20), F-1-21) F-1-24)
38	10/ 1	火	5					
39	10/ 1	火	6	演習	根石・田中克 渡部芳	循内 乳甲外 生理1	三巡目：胸痛、動悸、肥満・やせ	F-1-4), F-1-16) F-1-17)
40	10/ 3	木	4	演習	三原・三宅 阿部泰 田中健	神内 骨・関節 リハ スポ・外傷	三巡目：もの忘れ、運動麻痺・筋力低下、 けいれん、関節痛・関節腫脹、腰背部痛	F-1-8), F-1-32) F-1-34), F-1-35) F-1-36)
41	10/ 3	木	5					
42	10/ 3	木	6	演習	山下 八木田 松原 村上伸	総合臨床 脳卒中 脳外1 精神	三巡目：頭痛、不安・抑うつ、意識障害、 失神、全身倦怠感	F-1-2), F-1-7) F-1-31), F-1-33)

評価割合・基準・方法

[期末試験]50% (5肢択一方式[50題出題])：知識の評価

[実習点]30% (一、二巡目のチュートリアル演習における個人評価 (出席点も含まれる) [計30.0点満点])：態度の評価

[プレゼンテーション]20% (三巡目の課題発表におけるグループ評価 (出席点も含まれる) [20.0点満点])：技能の評価

[評価方法] 多肢選択試験, 出席・受講態度評価, プレゼンテーション評価, 実習態度評価

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて
(特になし)
教科書
ISBN-9784863990401, 主要症候・医療面接がわかる (シリーズこあかり Plus), 安田 幸雄 (編集), 医学評論社, 2010/09 ISBN-9784524267378, 総合診療力を磨く 40 の症候・症例カンファレンス—臨床推論の達人を目指せ!, 加計正文, 百村伸一 (監修), 南江堂, 2014/04/01
参考書
ISBN-9784260020640, 内科診断学 第3版, 福井 次矢 (編集)・奈良 信雄 (編集), 医学書院, 2016/02/15 ISBN-9784260004077, 誰も教えてくれなかった診断学—患者の言葉から診断仮説をどう作るか, 野口 善令・福原 俊一, 医学書院, 2008/04/01 ISBN-9784822200060, 考える技術 臨床的思考を分析する 第3版, Scott D. C. Stern・Adam S. Cifu・Diane Altkorn・日経メディカル (編集)・竹本毅 (翻訳), 日経 BP 社, 2015/06/15 ISBN-9784758106795, 身体所見からの臨床診断—疾患を絞り込む・見抜く!, 宮城 征四郎 (編さん)・徳田 安春 (編さん), 羊土社, 2009/12/01
準備学修 (予習・復習等)
M3 の 1 学期から M4 の 1 学期にかけて履修した『D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療』の各ユニットを演習の前後に各自で復習すること。特に、二巡目のグループ学習前には、一巡目で検討した内容について 30 分程度で復習をしておくこと。
講義についての注意事項
オリエンテーションでは、この科目を理解するための重要なメッセージを伝えます。必ず出席してください。 一巡目 (2~10 回) は、M-800 教室で講義を聴講します (約 15 分)。講義中に各グループに与えられたシナリオを提示します。その後 M-1010 演習室に移動し、与えられたシナリオについて、問題点の整理および鑑別診断をあげ、二巡目以降に備えたグループ学習をしてください (残り約 70 分)。同じシナリオの 2 グループに対して、1 名のチューターが担当します。 二巡目 (11~19 回) は、M-1010 演習室でグループに分かれてテュートリアル演習を実践します。一巡目同様に、同じシナリオの 2 グループに対して、1 名のチューターが担当します。 三巡目 (20~28 回) は、M-800 教室でグループごとに成果をプレゼンテーションします。発表時間 5 分、2 班合同質疑応答 3 分、チューター (担当者) からの解説 2 分とします。時間厳守で、大幅な発表時間オーバーは減点対象になります。 症候論での 4・5 時限とは 13:00~14:30 を指します。 症候論での 5・6 時限とは 14:45~16:15 を指します。
昨年度からの変更点・改善項目
CBT 対策を行うため、平成 28 年度改訂版モデル・コア・カリキュラムに準拠して演習を行う。 新たに「不安・抑うつ」「外傷・熱傷」「もの忘れ」の症候を加えた。
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について
本科目では臨床医学各科を統合して理解することが重要である。医学判断学、医療面接、EBM の考え方を学び、本科目習得後の臨床実習Ⅳ・Ⅴ履修や診療の基本のために必要な学問である。
ナンバリング
DASY413